3 カリキュラムマップ

育成を目指す力										
	第一階層	科学的思考力を身につける。	健康に関する基礎的な知識を修得する。			健康づくりのための実践的な力を身につける。			心身の健康に関する専門的知識、研究方法を修得する。	健康社会に関する共通した専門知識を修得する。
	第二階層	課題発見から解決のための手順を考え、実行し、解決のため、データを根拠とする「科学的な思考」を身につけ、健康をはじめ社会における新たな課題解決のプロセスに発展させる。そして自分の人生を充実させる力とする。	人間の健康に深く関わるための基礎。「人間とは」という問いについて多面的に探求するために必要となる、複数の学問的アプローチ法を知る。	一人一人の幸福と、社会全体の幸福の調和を図る方法を探求するための基礎。社会の一員として生きる人間の生活を考えるために必要な社会の仕組み、ルール、現代社会の課題などを知る。	「豊かで活力ある健康社会」を実現しようとするとき、私たちが目指す「健康」とはどのような状態であるのかについて考え、理解を深める。	日常生活の中でも身近になっている外国語について、言語の背景となっている文化などにも関心を持ちながら学び、生活の中で生きるコミュニケーション能力を身につける。	情報通信技術を活用し、多種多様な情報を収集・分析する能力およびモラルを身につけるため、パソコンやインターネットの活用に必要な基礎知識・技術を実践的に身につける。	自分がこれから健康で、どのような未来を切り開き、人生を歩んでいくかを「仕事」を中心に考え、「仕事」の選び方、準備のしかたなどを身につける。	「健への探究」に必要な研究方法に関する技術および基本的な専門的知識を修得する。	社会、身体、心理学領域で学ぶ専門科目に共通して必要となる基礎知識を修得する。

科目群分類	基礎科目群(B)							研究科目群(R)	専門科目群(S)
	科学的思考の基礎科目	健康を知る基礎科目				健康を創る実践力形成科目			社会領域
	科学的思考講座(1)	心を知る(2)	社会を知る(3)	身体を知る(4)	コミュニケーションリテラシー(5)	数理・AI・データサイエンス(6)	キャリアデザイン(7)	研究領域(1)(2)	心身の健康(病気・けがとその予防)(1)
4年後期								健への探究	←
4年前期									
3年後期							キャリアデザイン演習(仕事生活のための学び)	健康科学演習	
3年前期					英語講読(応用)		キャリアデザイン実習(インターンシップ5日以上)		健康・医療心理学 人間関係論 健康スポーツ科学
2年後期			共生文化論 市民社会論(連携)	Yoga	英語コミュニケーション(上級会話)	数理科学概論	キャリアデザインの理論		健康実践Ⅱ 公衆衛生学(疫学を含む。) 精神保健Ⅱ 教育行政 教育史 社会心理学
2年前期	ロジカルプレゼンテーション		文章表現(国語) ESD入門(連携)	ニュースポーツ実践	英語コミュニケーション(中級会話) 英語講読(基礎)	統計学概論	キャリア発達の心理学 アントレプレナーシップ入門		健康実践Ⅰ 精神保健Ⅰ 社会調査法 教育心理学 教育相談(カウンセリングを含む。)
1年後期	プレゼミⅡ ロジカルシンキング(思考)	人間と美術 人間と音楽 心理学概論 心理学入門	社会生活と法 現代社会の構造と問題	笑いと健康(連携) 健康生活 野外活動・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実践(ﾃﾆｽ) 健康と栄養	英語コミュニケーション(初級会話)	データサイエンス(連携) 統計学入門	産業・組織と人間行動の理解		心身健康論 行動科学概論 救急処置法 レクリエーション概論・実践
1年前期	プレゼミⅠ 探究への学び みずほ学	人間関係と倫理学 人間と社会(連携) はじめての心理学	日本国憲法 現代社会のマネジメント(連携) 社会で役立つ数学 生物調査法	健康へのアプローチ 野外活動・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実践(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ) 野外活動・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実践(ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ) 野外活動・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実践(ﾃﾆｽ) 野外活動・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ実践(卓球)	英語コミュニケーション(入門) 韓国語入門 中国語入門	情報リテラシー はじめての情報活用			教育原論

リフレクティブラーニング(PDCA)

人々の健康の維持、増進に関わる専門職業人にふさわしい知識、技術を修得する。		養護に関する専門知識を有し健康づくりをサポートできる。	人々の心の健康の理解と支援に関わる専門的知識、技術を修得する。				教員免許状取得にあたり、教職に必須の知識、技能を修得する。
からだをつくる3大栄養素とエネルギーバランスについて学ぶとともに、からだの調子を整えるミネラル・ビタミンと健康の関係について、日常生活における事例や健康問題をもとに理解を深め、健康増進のための専門的知識を修得する。	身体活動やスポーツに関連するからだの仕組みについて学ぶとともに、運動の実践を通して生涯にわたり健康で活動的な生活をするための安全で効果的な運動の理論と方法を修得することにより健康社会に貢献するための資質を身につける。	健康教育について学び、看護や救急処置に必要な技術を習得することにより、健康な生活への実践力を身につける。	心理学研究法の基礎を修得する。	心の成り立ちと機能について、生理・心理・社会的側面から修得する。	悩み、不適応、疾病などについて、どう見立て、支援するのか、理論と実践を修得する。	公認心理師を目指す人に必要とされる基本的技能と、公認心理師に関わる法的・職業的倫理を修得する。	

専門科目群(S)							教職科目群(T) ※卒業単位に含めない。			
身体領域			心理領域							
健康・栄養学(2)	健康とスポーツ(3)	健康・保健・養護学(4)	心理の研究法(5)	心理学の理論(6)	心理学の実践(7)	心理職のための知識・技能(8)	教育の基礎的理解(1)	道徳、総合的な学習時間等の指導法、生徒・教育相談(2)	教育実践に関する科目(3)	養護に関する科目(4)
卒業論文 健康科学研究						心理演習			教職実践演習(中・高) 教職実践演習(養護教諭)	
	障害者スポーツ								養護実習事前・事後指導 養護実習 教育実習事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	
栄養診断演習	体育実技(柔道) 健康運動指導論 運動プログラムの管理(運動療法(2)を含む。) 健康運動指導実習	健康教育・保健室経営演習 社会福祉概論			司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 福祉心理学	心理演習 公認心理師の職責	教職論作文・面談技法Ⅱ 教職教養Ⅱ	保健体育科教育法Ⅳ 保健科教育法Ⅳ		養護活動演習Ⅱ 学校教急処置(臨床実習を含む。)
健康管理学概論	スポーツ指導実践 運動生理学演習 トレーニング・フィットネス演習	青少年期発達支援論 高齢者の保健		神経・生理心理学 感情・人格心理学 スポーツ心理学	障害者・障害児心理学 青年心理学 心理学的支援法	心理的アセスメント 関係行政論	教職論作文・面談技法Ⅰ 教職教養Ⅰ	保健体育科教育法Ⅲ 保健科教育法Ⅲ	教育実習事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	養護活動演習Ⅰ
	スポーツ社会学 コーチング論 体育原理 ジュニアスポーツ指導論 健康スポーツ医学(運動療法を含む。) トレーニング・フィットネス論	健康相談・健康相談活動Ⅰ 健康相談・健康相談活動Ⅱ ヘルスアセスメントⅠ ヘルスアセスメントⅡ 子どもの保健	心理データ解析演習 心理学実験Ⅱ	知覚・認知心理学 学習・言語心理学 社会・集団・家族心理学	精神疾患とその治療 教育・学校心理学		教育課程論	保健体育科教育法Ⅱ 保健科教育法Ⅱ 教育方法及び技術（情報通信技術の活用を含む。）		
健康栄養学 ライフステージと病気予防の栄養学 生活習慣病論	体育実技（器械運動） 体育実技(陸上) 体育実技(球技Ⅰ) 体育実技(ダンス) スポーツマネジメント 運動生理学 運動学(運動方法学を含む。)	基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 薬理学概論 養護概説 ライフサイクルと健康	心理学研究法 心理学統計法Ⅱ 心理学実験Ⅰ	発達心理学 比較心理学 心と健康の心理学	臨床心理学概論		特別支援教育概論	保健体育科教育法Ⅰ 保健科教育法Ⅰ 進路指導の理論と実践 生徒指導の理論と実践 道徳教育の理論と実践 特別活動及び総合的な学習の指導法 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論		
栄養学入門(食品学を含む。) 病気の成り立ち(人体の構造と機能及び疾病Ⅱ)	体育実技(剣道) 体育実技(球技Ⅱ)	学校保健 看護学概論	心理学統計法Ⅰ				教育職入門			
解剖・生理学(人体の構造と機能及び疾病Ⅰ)	体育実技(水泳) 野外活動基礎実習									